

1. テーマ名 「書道に親しむ」

2. テーマ設定の理由

○テーマ観

総合的な学習の時間の目的は、「生きる力」の育成である。「生きる力」とは具体的には、自分で課題を見付け、自ら学び自ら考える力、正義感や倫理観等の豊かな人間性、健康や体力と言われている。学校生活における「生きる力」は生徒の興味・関心に応じた学習の展開がいかに関われるかが重要な要素である。学校の特色をだすために自由にマネジメントできるのである。本校では、施設設備・備品等が充実しており生徒のニーズに合わせた実習が取り組める。生涯学習の一つである「書道」を学習することにより、高校生時代に技術的なものや知識を得、将来の生きる力につながるものと確信する。

○生徒観

1, 2年までに書道を選択していない生徒ばかりであるが、十数種類のテーマから第一希望で選択した生徒達なので、興味関心は非常に強いと思われる。

○指導観

「自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考える力」を引き出す総学であるが、技術的なものは必要不可欠である。筆使いの基本や字形の基本は、少々時間がかかっても指導していかなければと思われる。

3. 指導目標（年間）

- 字形の基本を修得させる。
- 筆使いの基本を修得させる。
- 各種実用書式を修得させる。

4. 指導計画・・・配当時間 3年次3単位

- (1) オリエンテーション・テーマ設定・年間計画・・・・・・・・・・ 2時間
総合的な学習の時間の意義、学習内容及びテーマを考える。
- (2) 書道の基礎的学習を学ぶ活動（研究・実習）・・・・・・・・・・ 51時間
書道に関する調査・研究・実習に主体的・意欲的に取り組む
文字の基本形を各形ごとに学ぶ。
筆使いの基本を学ぶ。
- (3) 生活の中に使用する実用書式を学ぶ活動・・・・・・・・・・ 50時間（本時1時間）
調和体・漢字の細字を中心に文章を書く
年賀状や、のし書きを書く
- (4) 発表会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間
学習の過程から導き出された意見や考えを的確に表現できる。

5. 本時の内容

3単位中2時間を毛筆書道、1時間を硬筆書道に分けて実習している。1学期より、毛筆では小筆で、半紙に七言絶句の漢字と漢字かな交じり文（調和体）を学習し、硬筆ではそれぞれの文字の特徴を見つけ、その基本的な形を学び、短文の美しい書き方を学習してきている。本時ではこれらの基礎学習を基に、年賀状の書き方に取り組もうとしている。裏書きの各種バリエーションは各自の選択で書くが、表書きの書式にも注意を払って、形式があることを学んでほしい。

6. 指導上の留意点

○葉書の表書きの書式を理解させ、それに則り美しく、そして正確に書けるようにさせる。

○自分で考えた裏書きを美しく、そして芸術性を加味した書き方ができるようにさせる。

7. 教材 生徒： 資料プリント

8. 学習の展開（本時の学習指導過程）

	学習活動・内容	指導上の留意点	教材	配時	形態	評価
準備	道具類を机上に持参する。	<ul style="list-style-type: none"> ・筆，墨，練習用紙を持参させる。 ・練習用のプリントを持参させる 			一斉	(1)
導入	挨拶および出席確認	出席を確認し，授業の体制を整えさせる。		2分	一斉	
展開	葉書の表書きの書式を確認する 年賀状の裏書きの書式を確認する 年賀状の表書き，裏書きの練習	<ul style="list-style-type: none"> ・住所，氏名等の書式を理解させる。 ・文字の大きさ，書き出しの高さ等を注意させる。 ・各自で選択した裏書きの書き方を美しく書けるよう指導する。（文字の大小に注意を払わせる） ・添削指導をしながらその書式の理解と，美しく整った字形等を指導していく。 	資料プリント	8分 20分	一斉	(2)
	年賀状の清書	落ち着いて丁寧に書くよう指示する。		10分	一斉	(1) (2)
まとめ	批評会	全員分の年賀状を並べ，お互いに批評させる。		10分	一斉	(1)
評価	(1) 生活の中の書道について関心をもち，その改善（向上）を目指して自主的・積極的・意欲的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】 (2) 書道についての技能を身につけ，各自の目標が表現されている。【技能・表現】					